

# 評価結果報告書

## 地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	11
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	2
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	6
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	11
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
<b>合計</b>	<b>30</b>

事業所番号	3970101121
法人名	医療法人武田会
事業所名	エルダー 介良
訪問調査日	平成 19 年 8 月 9 日
評価確定日	平成 19 年 11 月 5 日
評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会

**○項目番号について**  
 外部評価は30項目です。  
 「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。  
 「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。  
 番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

**○記入方法**  
 [取り組みの事実]  
 ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。  
 [取り組みを期待したい項目]  
 確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。  
 [取り組みを期待したい内容]  
 「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

**○用語の説明**  
 家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。  
 家族 = 家族に限定しています。  
 運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。  
 職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。  
 チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

# 1. 評価結果概要表

## 【評価実施概要】

事業所番号	3970101121		
法人名	医療法人武田会		
事業所名	エルダー 介良		
所在地 (電話番号)	高知市介良乙3734番地5(もみじの団地内) (電話)088-878-7233		
評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会		
所在地	高知市朝倉戊375-1高知県立ふくし交流プラザ内		
訪問調査日	平成19年 8月 9日	評価確定日	平成19年 11月 5日

## 【情報提供票より】(平成19年 7月20日事業所記入)

### (1)組織概要

開設年月日	平成 15年 4月 1日
ユニット数	3 ユニット 利用定員数計 27人
職員数	17人 常勤15人, 非常勤2人, 常勤換算16人

### (2)建物概要

建物形態	併設 <u>単独</u>	<u>新築</u> 改築
建物構造	鉄筋RC 造り	
	3 階建ての 1 階 ~ 3 階部分	

### (3)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	30,000 円	その他の経費(月額)	15,000 円
敷金	有( 円)	<u>無</u>	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( 円)	有りの場合 償却の有無	有/無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり		1,000 円

### (4)利用者の概要(7月20日現在)

利用者人数	27名	男性	0名	女性	27名
要介護1	11名	要介護2	11名		
要介護3	5名	要介護4	0名		
要介護5	0名	要支援2	0名		
年齢	平均 87歳	最低	72歳	最高	98歳

### (5)協力医療機関

協力医療機関名	潮見台診療所 高知鏡川病院 小松歯科医院
---------	----------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

日当たりと見晴らしの良い小高い丘の団地内にあるホームである。清潔感にあふれ各ユニットには季節の草花がいたるところに飾られ、心なごませる雰囲気作りがなされている。ホームは母体である病院との連携がよくとれている。また職員の理念に基づいた高齢者観はしっかりしており、利用者を大事にしている様子が窺える。近くにある畑の活用や、日々の生活のなかでの役割分担を大切にケアの実践ができています。地元高校生のボランティアの受け入れや、町内会との連携を通して、これから更に地域に根ざして発展していく期待の持てるホームである。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目	①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4) 前回評価での改善課題のうち、研修内容の伝達、金銭取り扱いマニュアルの作成、事故検討会の開催など改善がみられる。また、権利義務の明示や介護計画、個別記録、地域との交流などは、引き続き取り組みを継続し改善に向けての努力がみられる。
	②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 前回評価で見出された課題の改善計画の継続を基に、今回の自己評価で見出された課題についてさらにも検討し改善される事を期待する。
重点項目	③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) 目立った要望や意見はないが、今まで町内会との連携が密に取れていなかったため、町内会長に運営推進会議への参加呼びかけや、町内会の催しの受け入れなどを通して、運営推進会議を活発化する取り組みを計画している。
重点項目	④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) エルダー便りの送付の他、個別に利用者の状況をお便りで知らせたり、年2回の家族参加の懇親会の開催がある。しかし、家族が主体的に開催する家族会には至っていないが、来訪しやすい雰囲気作りや意見、苦情受付の仕組みはある。現時点で、個別の相談はときどきあるが、家族はお世話になっているという遠慮から、なかなか本音が言えないこともあり、家族の気持ちを察して、今後もきめ細かい対応の継続が期待される。
重点項目	⑤	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 町内会を通して、地域に溶け込むことが出来るよう努力している。近隣の方との日々の挨拶や、畑の作物のおすそ分け、また、地元高校生のボランティアの受け入れ、介良ふれあいセンターでの日舞の発表会見学等により、地域との連携がより一層進展する事を期待する。

## 2. 評価結果（詳細）

（  部分は重点項目です ）

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容 )	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	<input checked="" type="checkbox"/> 事業所独自の理念がある。 〔職員が考えた「信頼されるグループホーム」という、ホーム独自の理念がある。〕  <input checked="" type="checkbox"/> これまでの理念に加え、地域密着型サービスとしての役割を目指した内容である。 〔理念の中に「地域での自立を視野に置き、社会参加への促進を目指します。」とあり、地域密着型サービスとしての役割を目指していることが分かる内容である。〕		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 理念について職員間で話し合いの機会をもち、意識づけがされている。 〔ユニットごとに勉強会(月1回のユニット会、ミーティングなど)を開き、理念に沿った行動目標を決めるなど、ケアを実践する姿勢が窺われる。〕  <input checked="" type="checkbox"/> 日々のサービスの提供場面(言葉かけ、態度、記録等)において、理念が反映されている。 〔理念を反映するケアを心がけている。〕		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	<input checked="" type="checkbox"/> 地域住民の一員として、町会、自治会等に参加している。 〔 〕  <input checked="" type="checkbox"/> リサイクル活動や行事など地域活動の情報を集め、それらに参加するなど、接点を持つ努力をしている。 〔町内会に働きかけ、ホームにおいて町内会の催しである「子供と高齢者の会」を開催。また、地元高校生のボランティアを受け入れたりと地域の方々との交流を深める姿勢がみられる。〕		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> サービス評価を実施するにあたり、評価の意義とねらいについて運営者、管理者、職員で話し合い、全員で自己評価に取り組んでいる。 〔月1回のユニット会などで、職員の意見を聞き、全員で自己評価に取り組んでいる。〕  <input checked="" type="checkbox"/> 評価で見出された課題について改善計画を立て、その実施に取り組んでいる。 〔前回の課題に対して改善計画シートを作成しており、改善に向けて取り組んでいる。〕		

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<input checked="" type="checkbox"/> 会議では、事業所からの報告とともに参加メンバーから質問、意見、要望を受け、双方向的な会議となるよう配慮している。 〔事業所から報告がされ議事録も整っている。参加メンバーからの活発な意見交換には至っていないが、ホームからの一方的な報告だけで終わらせていない配慮が窺える。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 評価で明らかになった課題について会議で報告し、改善に向けて取り組んでいる。 〔前回の評価で明らかになった課題を会議で報告し、町内会と連携を取りやすくする仕組みについて話し合うなど、改善に向けての取り組んでいる。〕		
6	9	○市町村との連携  事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	<input type="checkbox"/> 市町村職員の研修場所として事業所を活用してもらったり、また市町村担当窓口に対して、事業所の実情やケアサービスの取り組みを折に触れて伝えるなど交流を図っている。  〔運営推進会議に支援センターの職員の参加があり、また地区担当の保健師とは日常的に連携がとれている。〕	○	今後もホームから行政への積極的な働きかけを継続し、交流がより活発化することを期待する。
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告  事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 家族等の来訪時には声をかけ、利用者の状況や家族のことについて話し合っている。 〔 〕 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者の事業所での暮らしぶりやエピソードなど、手紙や写真等で伝えている。 〔年2回のエルダー便りのほか、各ユニットごとに月1回、個別に写真入のお便りを送り近況報告をしている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 心身の状況について、何らかの変化や問題が起きた時に必ず報告されている。 〔 〕 <input checked="" type="checkbox"/> 金銭について使途の確認や金銭出納帳等を明示し、その都度あるいは定期的に報告している。 〔金銭出納帳の明示及び定期的報告はされており、家族の確認のサインもある。家族が遠方の方で定期的に確認が出来ない場合は、出納帳のコピーを送付したことを確認できる仕組みが求められる。〕		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映  家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<input type="checkbox"/> 家族会や家族同士の集まりの場で意見を出せるような仕組みを作っている。 〔家族参加の懇親会は年2回開かれている。〕  <input checked="" type="checkbox"/> 苦情への対応で終わりではなく、その苦情の発生要因を探り、課題を検討し、質の向上をめざす取り組みをしている。 〔 〕	○	家族の来訪時に声がけをしたり、来訪しやすい雰囲気作りがされているが、家族は看てもらっているという遠慮があり、なかなか本音が言えないこともある。その様な家族の気持ちを察して、本音の意見が出せるよう今まで以上のきめ細かい対応を期待する。

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
	9	18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>利用者にとって馴染みの職員が継続的に支える体制となっている。 〔職員の異動はあまりなく、最小限に抑える方針である。〕</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>職員が代わる時は、引き継ぎの期間を十分に取、スムーズに移行できるように配慮している。 〔 〕</p>		
5. 人材の育成と支援						
	10	19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>日常的に学ぶことを推進し、パート職員にもチームの一員として、研修・会議等参加の機会がある。 〔 〕</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>全職員が共有できるよう、研修内容を報告する機会を作っている。 〔研修内容を発表する勉強会があり、また研修報告書もつくられている。〕</p>		
	11	20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>県内、全国組織の同業者ネットワークに加入し、サービスや職員の質向上につなげている。 〔 〕</p> <p><input type="checkbox"/>管理者・職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、職員のサービスや質向上に努めている。 〔設立当初に研修に行ったグループホームとの交流が若干あるが、今後は他のグループホームとの交流の機会も計画している。〕</p>	○	他のグループホームとの交流が増え、職員の資質やサービス向上に繋げることが求められる。
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援						
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応						
	12	26	<p>○馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p><input type="checkbox"/>入居希望者の入居に際し、その者の心身の状況、生活歴、病歴等の把握に努めている。 〔情報収集はされているが、生活歴など書き込みの不足が散見される。〕</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>本人や家族に事業所の見学や体験してもらっている。 〔 〕</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>入居希望者には、管理者と職員が面接を行っている。 〔施設長、管理者で面接を行い、見学時対応した職員の意見も参考にしている。〕</p>	○	生活歴など初期に記録しただけに留めず、その後分かった事柄などを追記する事によってより充実したものとなり、その人らしさを活かしたケアの提供がなされることになるので、今後も引き続き把握に努められることを望む。

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	<input checked="" type="checkbox"/> 日々の生活場面の中で、利用者を支援されるのみの立場にはおいていない。 〔衣服の着脱など自分で出来ることは見守り、着衣の選択など自分で選ぶ場面作りなどにも工夫している。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 支援する側、される側という意識は持たず、お互いが協働しながら和やかな生活ができるような場面作りがある。 〔ホームの近くに畑があり、職員と一緒に季節の野菜づくりを行うなど、支え合う場面が作られている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者から生活の技や生活文化の大事さを教えてもらう場面がある。 〔季節の行事を教わったり、畑の畝の作り方や鍬の使い方を教わるなど、場面作りがされている。〕		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの思い・暮らし方の希望・意向の把握に努めている。 〔日常の係わりの中から、意向をキャッチするよう努めている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 意思疎通が困難な方には、ご家族や関係者から情報を得るようにしている。 〔 〕		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	<input checked="" type="checkbox"/> 本人やご家族等からの気づき、意見、要望等を反映した介護計画が作成されている。 〔 〕 <input type="checkbox"/> アセスメントを含め職員全員で意見交換やモニタリング、カンファレンスを行っている。 〔担当制で月1～2回のカンファレンスが行われている。しかし、ユニットでばらつきがあり、アセスメントのない方やアセスメントがプランに活かされていないケースもあった。〕	○	アセスメントの結果とプランが整合していないなど、ユニットでばらつきが散見される。担当制を導入し、良いケアが実践されているので、プラン策定方法の共有やツールの見直しなどの検討が求められる。
16	37	○現状に即した介護計画の見直し  介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	<input checked="" type="checkbox"/> 介護計画は、設定された期間ごとに見直しされている。 〔 〕 <input checked="" type="checkbox"/> 本人、家族の要望や状態に変化が生じた場合には、その都度見直しされている。 〔 〕 <input checked="" type="checkbox"/> ワンパターンの期間設定ではなく、本人の状態や計画内容に応じた個別の期間設定をしている。 〔 〕		

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援  本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 医療処置を受けながらの生活が継続できるように努めている。 [ ] <input type="checkbox"/> 重度化した場合や終末期も事業所でケアを提供している。 [ ] <input checked="" type="checkbox"/> 特別な外出、通院や送迎、外泊などの支援を行っている。 [ ]	○	家族の意向を踏まえ、今後検討されることを期待する。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援  本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	<input checked="" type="checkbox"/> いままでのかかりつけ医や本人、家族等が希望する医療機関・医師に受診できる支援ができています。 [ ] <input checked="" type="checkbox"/> 受診や通院は、本人やご家族の希望に応じて対応している。 [基本的に受診は家族同行だが、状況に応じて職員で対応している。] <input checked="" type="checkbox"/> 受診結果に関する情報の共有ができています。 [検査結果の記録などは個別日誌に添付している。]		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有  重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	<input type="checkbox"/> 終末期の対応方針を定め、家族・医師・看護師を交えて話し合いを行っている。 [必要に応じて話し合いは行っている。] <input type="checkbox"/> 本人や家族の意向を踏まえ、医師、職員が連携をとり、安心して納得した最期が迎えられるように取り組んでいる。 [基本的にホームでの看取りはまだ考えていない。]	○	家族の意向を踏まえ、今後検討されることを期待する。

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底  一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	<input checked="" type="checkbox"/> 人前であからさまに介護したり、誘導の声かけをして、本人を傷つけてしまわないように、目立たずさりげない言葉かけや対応に配慮している。 〔プライバシーを損ねるような言葉かけや対応はみられない。〕  <input checked="" type="checkbox"/> 他の家族や外来者に対して、職員が利用者のプライバシーに関する話を話さないことを徹底している。 〔職員に個人情報の漏洩防止について確認(書名)させるなど、利用者のプライバシー保護に努めている様子が窺える。〕  <input checked="" type="checkbox"/> 全ての職員が、個人情報保護法の理解に努め、徹底されている。 〔個人情報保護法について、事業所独自のマニュアルはないが、短期研修などで、その徹底に努めている。〕		
21	52	○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの「その日」にしたいこと(買い物や散歩等)を把握し、それに応じて柔軟に支援している。 〔職員は、その人らしさとは今までの生活の継続であると認識し、会話に気をつけ、思い出を大事にその人らしく暮らせる支援を心がけている。〕  <input checked="" type="checkbox"/> 事業所の業務スケジュールに利用者の生活を合わせていない。 〔起床や食事時間など個別の対応が出来るよう時間に幅をもたせてあり、業務スケジュールに合わせることはない。〕		
(2)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<input checked="" type="checkbox"/> 献立づくりから調理、片付けに至るまで、食事に関する一連の流れを職員が一方的に進めるのではなく、利用者の意志や気持ちを大切に進めている。 〔調理専任の職員がいるが、ユニットによって月1回又は、週1回、利用者の希望の食事作りをしたり、盛り付け、配膳など役割分担があり、利用者と職員が協働する場面がある。〕  <input checked="" type="checkbox"/> 職員は食事介助のみではなく、利用者と職員が同じものを一緒に食べている。 〔利用者と職員が同じ食卓で、同じ物を食べて、食事を楽しむ支援がされている。〕		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援  曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者のこれまでの生活習慣や希望にあわせて入浴できるよう、職員勤務体制等について工夫をしている。 〔 〕  <input checked="" type="checkbox"/> 入浴を拒む人に対しては、言葉かけや対応の工夫、チームプレー等によって一人ひとりにあわせて入浴支援を行っている。 〔入浴拒否の利用者には職員が交代で対応し、場合によっては清拭対応などで入浴支援をしている。〕		



外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	<input checked="" type="checkbox"/> 事業所だけの訓練ではなく、地域住民の参加、協力を得ながら避難訓練等を定期的に実施している。 〔 〕 <input type="checkbox"/> 避難路の確保(整理整頓)や消火器等の設備点検を定期的に行うとともに、非常用食料・備品を準備している。 〔避難路確保や消火器の点検などは行われているので、非常用食料・備品の準備が必要である。〕		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<input type="checkbox"/> 一人ひとりの一日の栄養摂取総量や水分量を把握している。 〔食事のチェック表はあるが、水分量の把握は出来ていない。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの嗜好を把握し、献立に採り入れながら、栄養バランスにも配慮している。 〔特に利用者の希望により個別外食の対応もされている。また、栄養士による献立で、栄養バランスに配慮している。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 定期的に、栄養士や保健師等に専門的な観点からチェックしてもらっている。 〔食事作りは業者に委託しているが、栄養士が献立表を作成している。〕	○	水分摂取に職員は気を配っているが、水分摂取量を数値的に把握し、根拠のあるよりきめの細かいケアを実践することが重要である。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者にとって使いやすい配置や馴染みの物を採り入れた共用空間になっている。 〔一般家庭で使用されている馴染みの家具が使用されている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 天井や壁面に掛けられた折り紙等の飾り付けが、家庭的な雰囲気を壊していない。 〔絵や装飾品は落ち着いた雰囲気を持つ物で家庭的である。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 季節感のある装飾等に工夫するなど、季節感や五感の刺激にも配慮している。 〔季節の草花が飾られ、心なごむ空間になっている。〕		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 使い慣れた馴染みの物を傍に置くなど、本人や家族と相談しながら個別に工夫されている。 〔ミシン、テレビや使い慣れた筆筒などがあり、個別の工夫がされていた。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 家族の協力が得られない等の場合でも、本人の意向を確認しながら、その人らしく居心地のよい居室づくりに取り組まれている。 〔居室の入り口に、思い思いの小物や写真など自由に飾れるように飾り棚が設けられており、その人らしさを演出できるホーム独自の工夫がみられる。〕		